

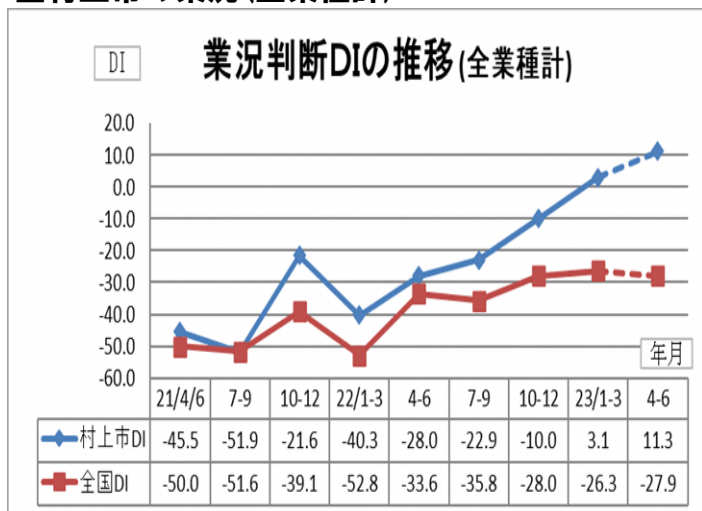


村上市 景況調査報告

〈令和5年1-3月期の実績・令和5年4-6月期の見通し〉

『厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる』

■村上市の業況(全業種計)

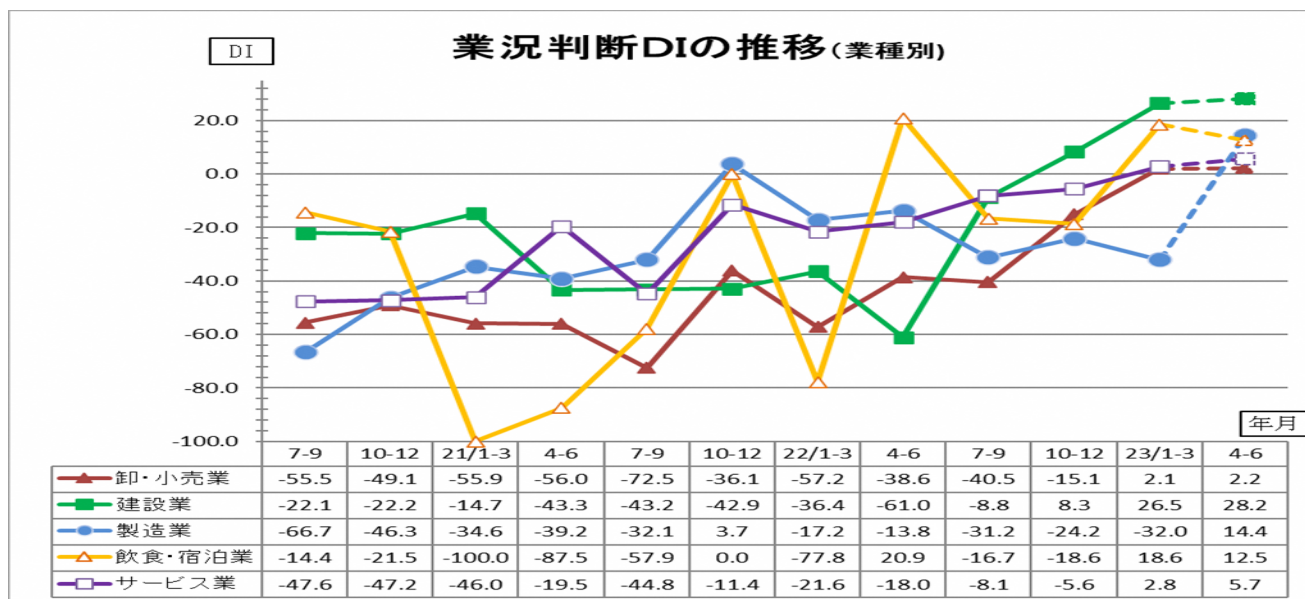


今期(1-3月期)の業況判断DI(全業種計)は、前期(10-12月期)と比べ13.1ポイント上昇し3.1となった。前期における今期予測(▲23.5)より26.6ポイント上昇し前年同月比では43.4ポイント上昇した。全国DIは1.7ポイント上昇し▲26.3となった。

来期(4-6月期)については、8.2ポイント上昇し11.3となる見通し。全国DIは1.6ポイント低下し▲27.9となる見通し。

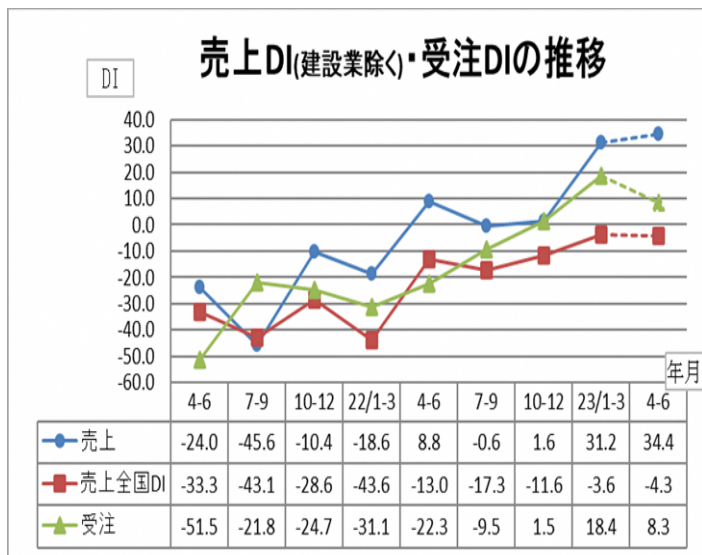
全業種に共通して引き続き物価高騰による売上不振が懸念されている。

見通しとしては、飲食・宿泊業以外でDIは上昇の見込み。ただし、飲食業では、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げになり対策も緩和されたことから、外食機会増加を期待するコメントが多く寄せられている。



■各業種の動向

卸・小売業	建設業	製造業	飲食・宿泊業	サービス業
<p>コロナ感染症の終息の兆しが見え始めており、人の動きが活発になってきているが、材料や諸経費の値上がりにより、収益が圧迫されているという声は多い。関連して、消費者が節約志向になっているというコメントもある。</p> <p>見通しとしては、GWが控えているが、さらなる物価高騰が続き、先行きが不安視されている。</p>	<p>前期に引き続き、土木工事業では災害復旧工事による受注増というコメントが多く、原材料費高騰のコメントもある。給排水設備工事業では、大寒波による水道管凍結修理が多かったなどがあげられている。</p> <p>見通しとしては、引き続き災害関連の受注が見込まれるとのコメントが多い。</p>	<p>食品製造業では主原料の鶏卵が鳥インフルエンザの影響で不足して製造制限で売上減少。住宅関連製造業では、物価高・ウッドショックの影響により住宅が建たない。航空機関連製造業では、好転しているが応需能力が追い付いていない。</p> <p>見通しとしては、受注が少ないとのコメントも多いが、回復する見込みとのコメントも増えてきている。</p>	<p>コロナ感染症が落ち着いたことから、少しずつ個人・団体の宴会は戻りつつあるが、法事はまだまだ戻らない。材料高騰により利益を圧迫している。</p> <p>見通しとしては、選挙が控えていることで鈍い感じはあるが、コロナ禍が落ち着いてきていることから予約が好調である、さらにGWにより、機会創出されることが期待されている。</p>	<p>旅客運送業では鳥インフルエンザ発生による人員輸送の特需があった。自動車整備業や染色業では、人手不足で仕事量を増やせない。クリーニング業や福祉介護事業では、燃料・電気料等高騰の影響が大きい。</p> <p>見通しとしては、上向きになるとのコメントが多いが、賃金コストや仕入価格高騰など経費面の増加が懸念されている。</p>



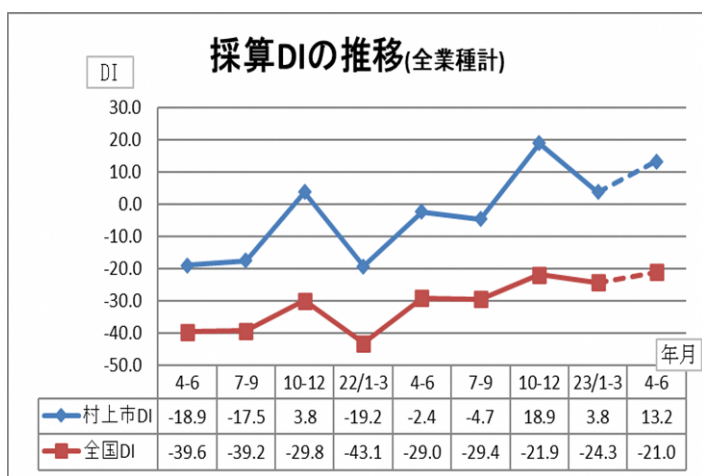
今期の売上DI(建設業除く)は、前期と比べ、29.6%上昇し31.2となった。前期における今期予測(▲19.6)より50.8%上昇し前年同月比では49.8%上昇した。全国DIは8.0%上昇し▲3.6となった。

来期については、3.2%上昇し34.4となる見通し。全国DIは0.7%低下し▲4.3となる見通し。

今期の受注DI(建設・製造業)は、前期と比べ、16.9%上昇し18.4となった。前期における今期予測(▲6.3)より24.7%上昇し前年同月比では49.5%上昇した。

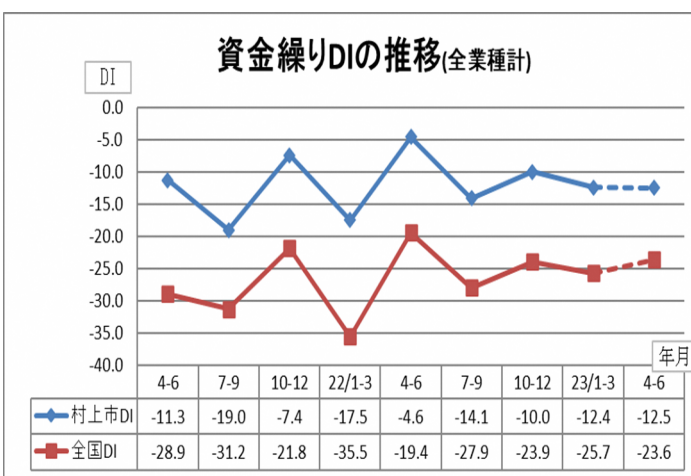
来期については、10.1%低下し8.3となる見通し。

【受注DIの内訳】	前期	今期	来期
・建設業	19.5	33.3	9.1
・製造業	▲22.3	0.0	7.4



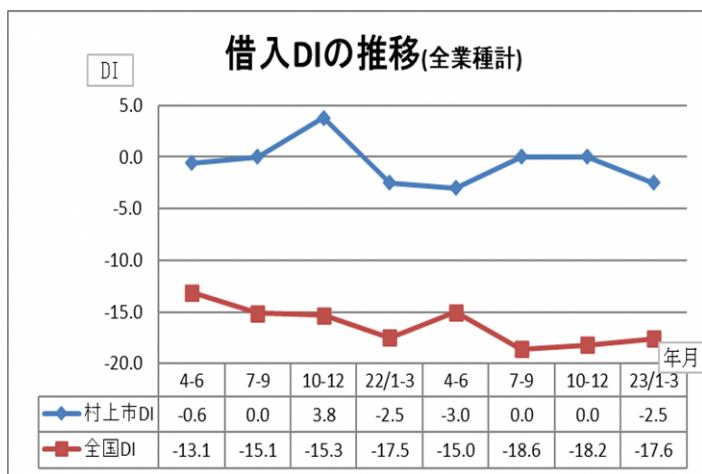
今期の採算DI(全業種計)は、前期と比べ、15.1%低下し3.8となった。前期における今期予測(▲12.8)より16.6%上昇し前年同月比では23.0%上昇した。全国DIは2.4%低下し▲24.3となった。

来期については、9.4%上昇し13.2となる見通し。全国DIは3.3%上昇し▲21.0となる見通し。



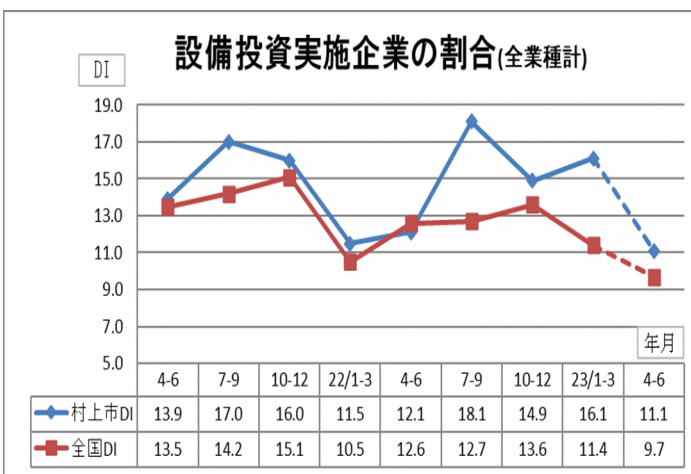
今期の資金繰りDI(全業種計)は、前期と比べ、2.4%低下し▲12.4となった。前期における今期予測(▲22.1)より9.7%上昇し前年同月比では5.1%上昇した。全国DIは1.8%低下し▲25.7となった。

来期については、0.1%低下し▲12.5となる見通し。全国DIは2.1%上昇し▲23.6となる見通し。



今期の借入DI(全業種計)は、前期と比べ、2.5%低下し▲2.5となった。全国DIは0.6%上昇し▲17.6となった。

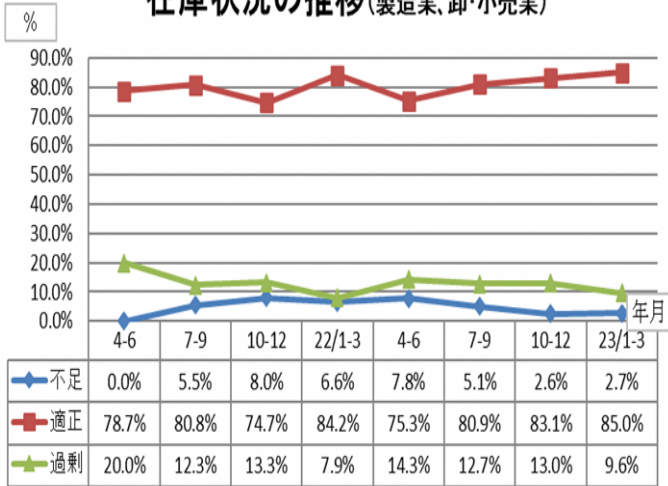
【借入DIの内訳】	前期	今期
・容易になった	3.6%	→ 1.2%
・変わらない	41.9%	→ 37.9%
・難しくなった	3.6%	→ 3.7%



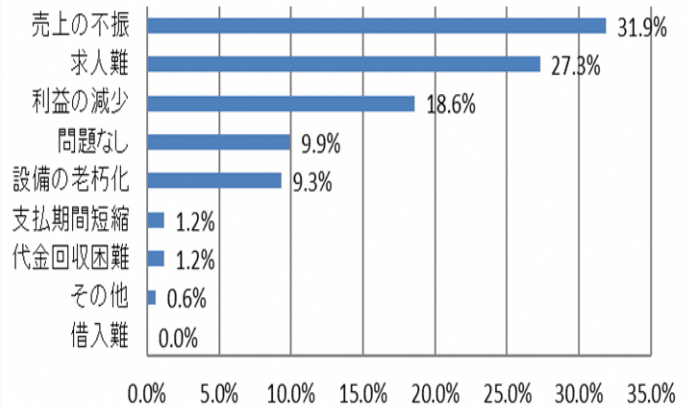
今期の設備投資実施企業の割合(全業種計)は、前期と比べ、1.2%上昇し16.1となった。前期における今期予測(13.0)より3.1%上昇し前年同月比では4.6%上昇した。全国DIは2.2%低下し11.4となった。

来期については、5.0%低下し11.1となる見通し。全国DIは1.7%低下し9.7となる見通し。

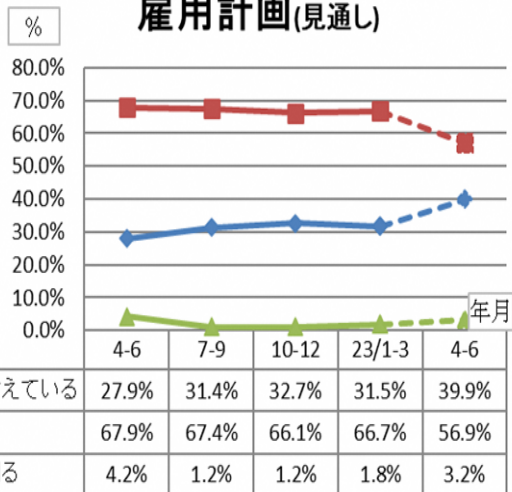
在庫状況の推移(製造業、卸・小売業)



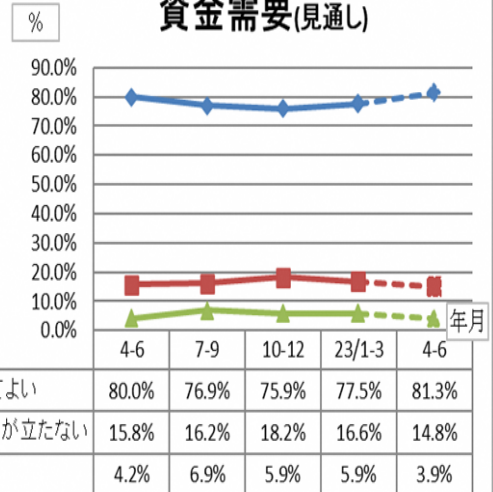
経営上の問題点



雇用計画(見通し)



資金需要(見通し)

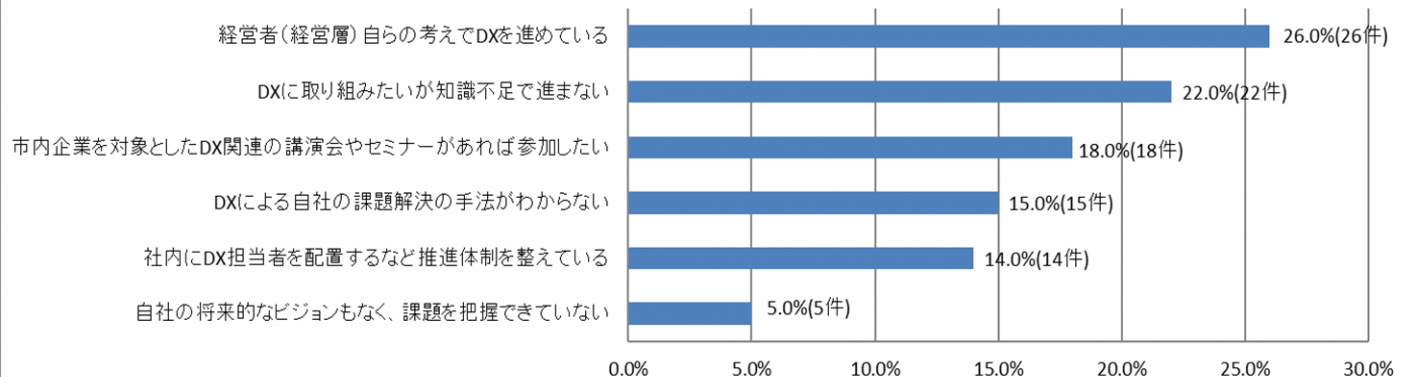


■自社の DX (デジタルトランスフォーメーション) の取組について

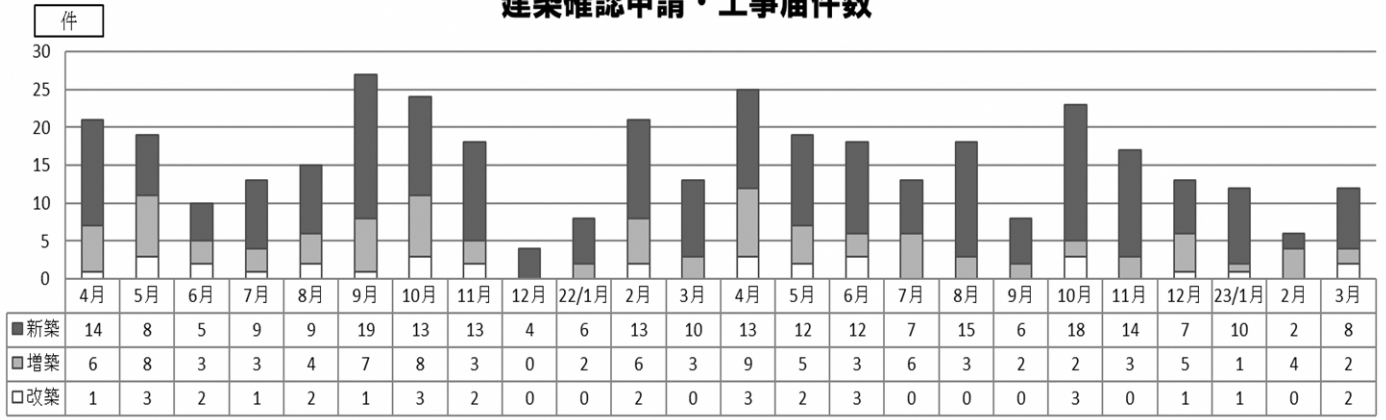
今、自社が抱える課題解決に向けたDXの取組状況(デジタル化、システム導入など)と、取り組んでいる内容について教えてください。(複数回答可)

	145	100%
①現在取り組んでいる	33	22.8%
②現在は取り組んでいないが、今後取り組む予定がある	38	26.2%
③現在取り組んでおらず、今のところ取り組む予定はない	74	51.0%

取り組んでいる又は取り組む予定の事業所で、現状と課題は？

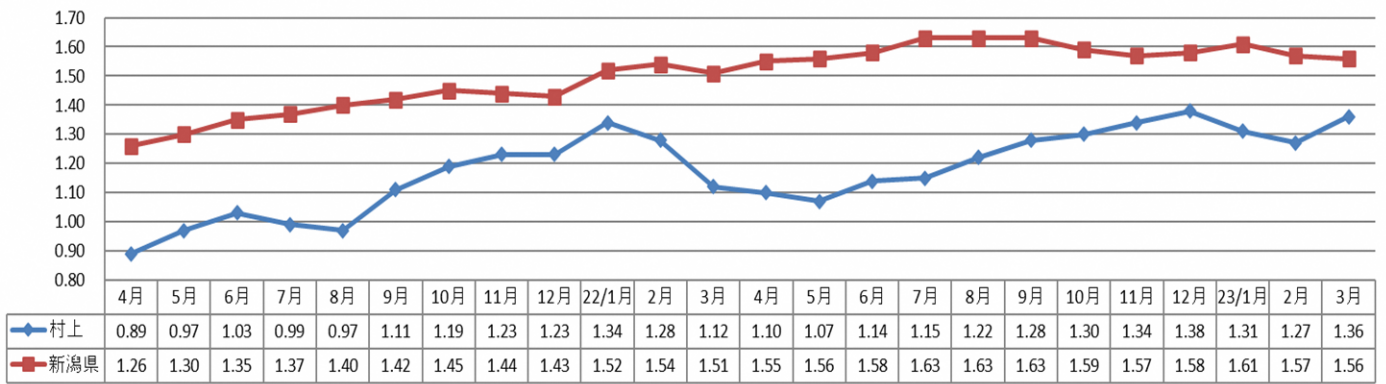


建築確認申請・工事届件数



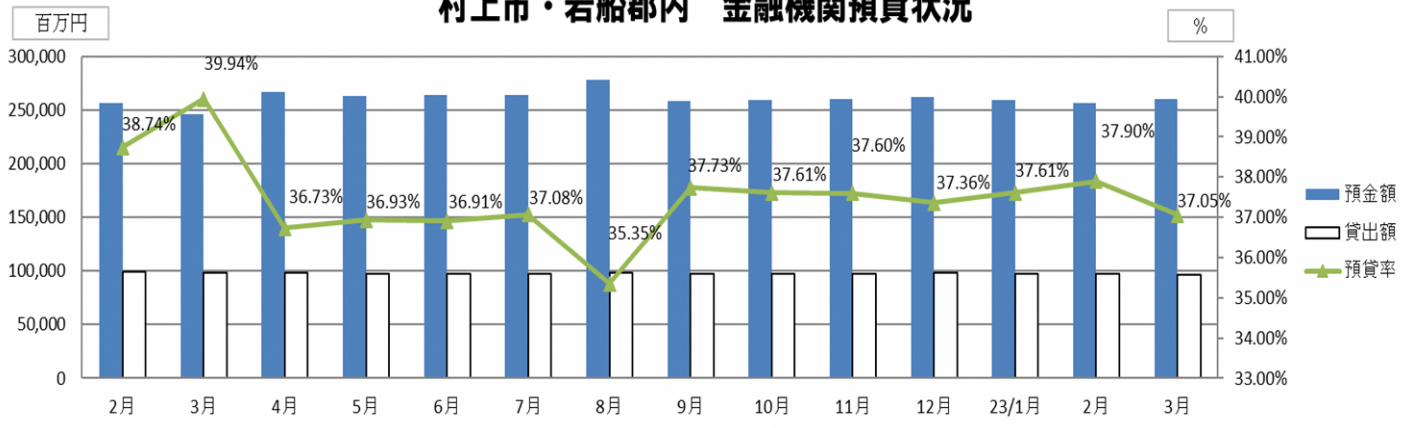
※本データは、新築・増築・改築の申請があった建築確認申請(民間受付含む)と工事届の合算となります。

村上職安管内 有効求人倍率(パートを含む全数)



※上記有効求人倍率は、季節調整値再計算により改訂した数値を記載しています。

村上市・岩船郡内 金融機関預貸状況



調査概要

調査時期	2023年3月中旬～2023年4月上旬
調査対象	村上市内事業所200社 有効回答数:168社(回収率84.0%) [業種] 卸売・小売業62社、建設業41社、製造業30社、飲食・宿泊業21社、サービス業46社 [地区] 村上地区104社、荒川地区33社、神林地区21社、朝日地区19社、山北地区23社
実施機関	村上市地域経済振興課、村上商工会議所、荒川商工会、神林商工会、朝日商工会、山北商工会
分析機関	村上商工会議所
参考資料	全国中小企業動向調査結果(小企業編)／日本政策金融公庫 (全国DI) 〈2023.1-3実績・2023.4-6見通し〉

DI値(景況判断指数)=[増加・好転などの回答割合]-[減少・悪化などの回答割合]

(※売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する)